



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月19日（水）



9月30日に学校の金木犀（きんもくせい）について取り上げました。あの時の花は間もなく落花したのですが、今週に入って二度目の開花が見られました。今朝もとてもいい香りがしています。金木犀は、一度しか花をつけない木と二度花をつける木があることを、今朝ラジオ放送で聴きました。本校の金木犀は、後者のタイプのようです。しかも、一度目より、なんだか花が大きく、色も濃いような気がします。金木犀の開花は秋を感じさせます。二度も芳香を楽しめるなんて、少し得した気分です。



久しぶりの秋晴れです。1時間目から4年生が校庭でティーボールを行っていました。小学校体育では、様々な球技を学習します。競技の特性に合わせて、ゴール型（サッカー、バスケットボール、ラグビー等）、ネット型（ソフトバレーボール等）、ベースボール型（三角ベースボール等）があり、ティーボールはベースボール型にあたります。ティーに乗せた止まっているボールを打つので、ファウルや空振りもほとんどありません。ベースボール型ゲームの特徴である「打つ、捕る、投げる、走る」を楽しく学習することができます。ティーボールは、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の諸外国でも教育に取り入れられています。



3年生は、校庭で理科の観察をしていました。グループごとに、日なたと日かげの地表面の温度を測定しています。今日はよく晴れたので、温度の差がはっきり出ました。日なたは25℃くらい、日かげは15℃くらいでした。10℃も差があることに子供たちは驚いていました。本時の学習のねらいは、地面は太陽によって暖められることや日なたと日かげでは地面の暖かさや湿り気に違いがあることを観察を通して調べることです。

